

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 1 月 28 日 (2021.1.28)

【公開番号】特開 2020-80918 (P2020-80918A)
 【公開日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-022
 【出願番号】特願 2018-214724 (P2018-214724)
 【国際特許分類】

D 0 6 F 39/02 (2006.01)

【F I】

D 0 6 F 39/02 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 14 日 (2020.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

洗濯機本体と、
 前記洗濯機本体の内部に設けられた水槽と、
 所定量の洗濯処理剤を洗濯運転中に前記水槽内に自動で投入する自動投入装置と、を備え、

前記自動投入装置は、複数回分の洗濯処理剤を貯留可能な処理剤タンクと、前記洗濯機本体の後部側に設けられ前記処理剤タンクを着脱可能に収容するタンク収容部と、を有し、

前記処理剤タンクは、前記処理剤タンクの内部と外部とを連通する投入口と、前記投入口を開閉するタンク蓋と、前記処理剤タンクの周壁を構成するタンク周壁部のうち前記処理剤タンクの手前側に配置されたタンク前壁部よりも後側でかつ前記タンク蓋の下方に設けられた取手部と、を有している、

洗濯機。

【請求項 2】

前記取手部は、前記処理剤タンクを前記タンク収容部に収容した状態において前記洗濯機本体の表面から外方へ突出しない形状に形成されている、

請求項 1 に記載の洗濯機。

【請求項 3】

前記取手部は、前記処理剤タンクを前記タンク収容部に収容した状態において前記処理剤タンクを前記洗濯機本体の前側へ向かって窪ませた形状に形成されている、

請求項 1 又は 2 に記載の洗濯機。

【請求項 4】

前記タンク収容部は、

前記タンク収容部の内部と外部とを連通する接続部を有し、

前記処理剤タンクは、

前記処理剤タンクの外部と内部とを連通し、当該処理剤タンクを前記タンク収容部に挿入した状態でその挿入端において前記接続部に接続される供給口部と、

前記タンク周壁部のうちユーザから見て奥側のタンク周壁部であるタンク奥壁部の外側に設けられ、前記接続部に対する前記供給口部の接続方向に対し前記供給口部側へ向かう

につれて前記供給口部側に近づくように傾斜した傾斜部と、を有している、
請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の洗濯機。

【請求項 5】

前記傾斜部が設けられた前記タンク周壁部における前記供給口側の端部と、前記タンク収容部との間に隙間を有している、

請求項 4 に記載の洗濯機。

【請求項 6】

前記タンク収容部は、前記タンク収容部の周壁を構成する収容部周壁部を有し、

前記収容部周壁部のうちユーザから見て奥側の収容部周壁部である収容部奥壁は、ユーザから見て手前側の収容部周壁部である収容部前壁部よりも、前記タンク収容部の底となる収容部底部からの高さ寸法が小さい、

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の洗濯機。

【請求項 7】

前記タンク収容部は、前記タンク収容部の周壁を構成する収容部周壁部を有し、

前記収容部周壁部のうちユーザから見て手前側の収容部周壁部である収容部前壁部は、前記接続方向に対し前記タンク収容部の底となる収容部底部へ向かうにつれて前記接続部に近づくように傾斜している、

請求項 4 又は 5 に記載の洗濯機。

【請求項 8】

洗濯機本体と、

前記洗濯機本体の内部に設けられた水槽と、

所定量の洗濯処理剤を洗濯運転中に前記水槽内に自動で投入する自動投入装置と、を備え、

前記自動投入装置は、複数回分の洗濯処理剤を貯留可能な処理剤タンクと、前記洗濯機本体の後部側に設けられ前記処理剤タンクを着脱可能に収容するタンク収容部と、を有し

、

前記処理剤タンクは、ユーザが前記処理剤タンクの後側から前記取手部に手をかけて前記処理剤タンクをユーザ側に回動させて前記処理剤タンクを前記タンク収容部から抜き出すことが可能に構成されている、

洗濯機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

実施形態の洗濯機は、洗濯機本体と、前記洗濯機本体の内部に設けられた水槽と、所定量の洗濯処理剤を洗濯運転中に前記水槽内に自動で投入する自動投入装置と、を備え、前記自動投入装置は、複数回分の洗濯処理剤を貯留可能な処理剤タンクと、前記洗濯機本体の後部側に設けられ前記処理剤タンクを着脱可能に収容するタンク収容部と、を有し、前記処理剤タンクは、前記処理剤タンクの内部と外部とを連通する投入口と、前記投入口を開閉するタンク蓋と、前記処理剤タンクの周壁を構成するタンク周壁部のうち前記処理剤タンクの手前側に配置されたタンク前壁部よりも後側でかつ前記タンク蓋の下方に設けられた取手部と、を有している。